

# 西宮市立郷土資料館報

令和3年度（2021）

## 目次

I	西宮市立郷土資料館の運営	1
	1 常設展示	1
	2 特別展示	5
	3 特集展示	6
	4 今月のアラカルト	6
	5 指定文化財公開	7
	6 その他展示	7
	7 教育普及	7
	8 共催・後援事業	10
	9 資料の収集・保存・調査・研究	10
	10 文化財調査ボランティア	12
II	郷土資料館分館名塩和紙学習館	14
	1 令和3年度利用状況	14
	2 教育普及	16
III	施設改修事業	16
IV	西宮市立郷土資料館条例および施行規則	17

# I 西宮市立郷土資料館の運営

## 1 常設展示（令和4年3月31日現在）

西宮の歴史をテーマに郷土のあゆみを実物資料・模型・ジオラマ・パネルなどによって視覚的・立体的に構成し、郷土の歴史・文化に関する知識と理解を深めるように展示した。

展示資料：371点（実物190点／複製9点／模型4点／ジオラマ1点／パネル83点／子ども向けパネル14点／年表4点／図7点／写真59点）

### (1) テーマ

#### 西宮の歴史

西宮の歴史を概観し、その発展の過程を理解する。

### (2) 展示

#### i わたくしたちのまち にしのみや

現在の西宮を代表する景観を写真で紹介する。

<パネル> 甲山（名勝地）／甲陽園目神山地区／教行寺太鼓楼／蓬莱峡（名勝地）／名次山（名勝地）／武田尾温泉（名勝地）／生瀬地区のだんじり／武庫大橋／西宮神社苑池（名勝地）／徳川大坂城東六甲採石場／漢織呉織伝承地（名勝地）／宮水地帯／御前浜（名勝地）／常夜灯型道標と西国街道／甲山八十八ヶ所

#### ii 西宮の地形

市域の地勢を地形模型で紹介する。

<模型> 1万分の1地形模型

#### iii 西宮の文化財

市域内の国・県・市指定文化財を写真で紹介する。

<パネル> 神戸女学院／西宮神社嘉永橋／西宮神社瑞寶橋／西宮神社／老松古墳／高畑町遺跡出土木製品／桜戸雑話／昌林寺阿彌陀像・観音像・勢至像／考古小録／西宮市の文化財一覧／慶長十年撰津国絵図／海清寺三門／松山大学温山記念会館／旧山本家住宅／クスノキ

#### 自然史

西宮地方の成り立ちを自然史の分野から概観する。

##### 1 西宮の基盤

<実物> 神戸層群の珪化木／有馬層群・流紋岩／甲山安山岩／六甲花崗岩／丹波層群

<パネル> 広い海の時代／火の海列島時代／甲山の誕生・神戸層群

##### 2 西宮の誕生 I

<実物> 神戸層群の植物化石／ラリックス層の植物化石5点／アカシゾウの牙／満池谷層の植物遺体包含層剥ぎ取り標本

<パネル> 寒冷な時代／温暖な時代／マチカネワニ／アカシゾウ

##### 3 西宮の誕生 II

<実物> 沖積層／中位段丘の礫層／高位段丘の赤色泥／アズキ火山灰／大阪層群／丹波層群

<パネル> 六甲山地の形成／航空写真／高位段丘／中位段丘／六甲山東麓から尼崎平野断面図

#### 原始

原始・古代の人々の生活を考古資料によって概観する。

<年表> 原始 郷土のあけぼの

<図>先土器時代地図 / 縄文時代遺跡分布図 / 弥生時代遺跡分布図 (西撰) / 古墳分布図 (西撰)

<写真>西宮市苦楽園六番町出土ナイフ形石器 / 芦屋市岩ヶ平出土ナイフ形石器 / 宝塚市出土有舌尖頭器 / 芦屋市朝日ヶ丘遺跡出土石器 / 大阪市森の宮遺跡貝層 / 大阪市長原遺跡出土縄文土器 / 尼崎市田能遺跡出土弥生土器 / 芦屋市会下山遺跡遠景 / 西宮市津門出土銅鐸 / 宝塚市中山出土銅鐸 / 芦屋市会下山遺跡出土鉄器 / 宝塚市安倉古墳出土鏡 / 宝塚市万籟山古墳竪穴式石室 / 神戸氏五色塚古墳 / 西宮市越水山遺跡竪穴住居跡 / 西宮市関西学院構内古墳 / 宝塚市白鳥塚家形石棺 / 宝塚市中山荘園古墳

#### 4 稲作のはじまり

<実物>仁川高台遺跡出土遺物 6 点 / 甲子園口遺跡出土遺物 3 点 / 越水山遺跡出土遺物 3 点

<複製>津門出土の銅鐸 / 銅戈

<パネル>弥生時代の集落 / 箕面市如意谷出土銅鐸 / 弥生時代の水田・石庖丁 / 青銅器出土地 / 越水山遺跡の竪穴住居・越水山遺跡の竪穴住居の炉跡 / 弥生時代竪穴住居内部推定図 / 銅鐸の鑄造

<こども向けパネル>いしぼうちょう / どうか

#### 5 古墳文化の拡大 I

<実物>具足塚古墳出土品 31 点

<パネル>具足塚古墳石室 / 具足塚古墳石室内部 / 具足塚古墳遺物出土状態・具足塚古墳石室内部の遺物 / 関西学院校内古墳 / 関西学院構内古墳石室実測図 / 上ヶ原台地北半部の古墳

#### 6 古墳時代の拡大 II

<実物>八十塚古墳群出土遺物 44 点

<パネル>八十塚古墳群古墳位置図 / 八十塚古墳群 / 老松 3 号墳石室・苦楽園五番町 5 号墳石室 / 古墳から出土する須恵器  
<こども向けパネル>みみかざり

### 古代・中世

社寺の文化遺産と地域との関わりを歴史のながれの中で概観する。

<年表>古代・中世 神社・仏閣の語るもの

<写真>複弁蓮華文軒丸瓦 (神呪寺) / 木造如意輪観音坐像 (神呪寺) / 木造不動明王坐像 (神呪寺) / 浄橋寺梵鐘 / 善慧上人伝絵 (浄橋寺) / 虎関師錬画像 (茂松寺) / 極楽寺弥陀石仏 / 浄橋寺石造五輪卒塔婆 / 浄橋寺石造五輪塔 / 西宮神社大練塀 / 公智神社神輿殿

#### 7 神社仏閣が語るもの I

<複製>善慧上人伝絵

<パネル>公智神社神輿殿 / 西宮神社大練塀

#### 8 神社仏閣が語るもの II

<実物>笠塔婆 / 石造五輪塔

<複製>弥陀石仏 (極楽寺)

<パネル>宝篋印塔 (西方寺) / 石造五輪塔 (浄橋寺) / 石造七重塔 (鷲林寺)

### 近世

江戸時代の西宮地方で発達した産業・交通・文化の特質を概観する。

<年表>近世 西宮地方の産業と文化

<写真>西宮神社表大門 / 摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図 (浄橋寺) / 上総九十九里地引網大漁獵正写之図 / 酒づくり風景 (「撰津名所図絵」) / 耕織図屏風 / 菱垣新綿番船川口出帆之図 / 新西番船入津繁栄図 / 摂州名塩村の紙漉図 (「筑紫紀行」) / 西宮宿 (「山崎通分間延絵図」) / 越木岩神社のおかげ踊り図絵馬 (越木岩神社) / 今津灯台 / 摂海に入ったロシア軍艦ジアナ号 / 豊饒御蔭参之図

#### 9 農・漁業の発達

<実物>上総九十九里地引網大漁獵正写之図 / 山海名産図会 3 点

<パネル>地曳き網の図

## 10 西宮・今津の酒造り

<実物>酒造道具の図を集めた本 / 名酒づくし / 新撰銘酒寿語録

<複製>酒株札

<パネル>酒づくり風景(「摂津名所図会」) / 酒造史年表 / 摂泉十二郷の地域図

<こども向けパネル>さけかぶふだ

## 11 名塩紙

<実物>青箔下間似合 / カブタ土 / 玉子間似合 / 尼子土 / 銀箔打原紙 / 蛇豆土 / 箔下間似合 / 東久保土 / 漉舟株札 / 藩札

13点

<ジオラマ>名塩の紙漉場

<パネル>名塩の紙ができるまで / 雁皮紙(泥土入)電子顕微鏡写真 / 純雁皮紙(生漉)電子顕微鏡写真 / 名塩の紙漉き場

<こども向けパネル>なじおの土 / はんさつ

## 12 西宮宿

<複製>行程記

<パネル>西宮の町場

<図>西宮宿之図

## 13 生瀬宿

<複製>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図

<模型>生瀬宿の町並み(30分の1)

<パネル>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図解説

<図>生瀬宿之図

## 14 灘酒の海上輸送と樽廻船

<実物>和磁石2点 / 新酒番船入津繁栄図 / 船艦札 / 新酒番船一番の杯 / 入船祝はっぴ

<複製>新酒番船一番札 / 鳥羽日和山方角石

<模型>樽廻船(20分の1) / 今津灯台(10分の1)

<パネル>常夜灯 / 近世末期における主要航路図 / 輸送比較表 / 樽廻船(弁財船づくり)各部名称図

<こども向けパネル>たるかいせん / わじしゃく / さかづき / はっぴ

## 民俗

### 15～17 西宮の米づくりと年中行事

<実物>くわ / すき / 田植え杵 / 草取り器 / がんづめ2点 / 鎌2点 / 千歯こき / 万石通し / ふるい / 箕 / 唐箕

<パネル>西宮の米づくりと年中行事

<こども向けパネル>がんづめ / とうみ

## 近・現代

産業・交通における近代化の状況と明治時代後半期から第2次世界大戦までの学校教育を資料や教科書から概観する。

<年表>近・現代 明治維新と近代化へのあゆみ

<図>市域の拡大

<写真>大阪―神戸間の鉄道時刻表・運賃表 / 武庫郡今津学校ノ図 / 旧辰馬喜十郎住宅 / 旧辰馬喜十郎酒蔵 / 阪神電車開通の広告 / 阪急電車の開通3点 / 甲東村住宅地の開発 / 今津発電所 / 完成間近の阪神甲子園球場 / 阪急西宮球場の開設 / 阪神武庫川線の三線軌条式線路 / 接収中の阪神甲子園球場 / 第19回全国選抜中等学校野球大会 / 上ヶ原文教住宅地区 / 武庫川団地

### 18 近代化へのあゆみ

<実物>香櫛園のはがき4点 / 苦楽園のはがき6点 / 甲陽園のはがき10点

<パネル>土地開発の進展

<こども向けパネル>こうろ園遊園地

## 19 教育の普及

<実物>明治 37 年から昭和 15 年までに刊行された国定教科書 14 点

<パネル>明治 30 年代後半の小学校の様子（写真）2 点 / 就学児童数の変遷

<こども向けパネル>きょうかしよ

### (3) 令和 3 年度の利用状況

#### a. 常設展示室入場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数	26	26	26	17	23	23	27	25	24	23	24	27	291	
個人入場者数	1,490	1,163	1,175	1,747	2,151	1,503	1,790	2,297	1,323	1,514	2,229	1,636	20,018	
一般団体	団体数	0	0	0	2	0	0	0	1	1	2	1	0	7
	入場者数	0	0	0	26	0	0	0	20	5	47	35	0	133
学校団体	団体数	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	3	1	9
	入場者数	0	0	0	6	0	122	180	125	0	101	299	87	920
入場者数合計	1,490	1,163	1,175	1,779	2,151	1,625	1,970	2,442	1,328	1,662	2,563	1,723	21,071	

#### b. 団体利用者一覧

##### 一般団体

番号	月	日	団体名	人数
1	7	22	兵庫体験活動ネットワーク	17
2	7	29	ソーシャルスクエア	9
3	11	6	西宮歴史調査団	20
4	12	18	阪神マイスターズ	5
5	1	15	日本遺産ツアー（大人向け）	31
6	1	23	ボーイスカウト西宮 13 団 CS 隊	16
7	2	3	歩け歩け協会	35
			合計	133

##### 学校団体

番号	月	日	学校名	人数
1	7	18	関西大学文学部文化遺産学ゼミ	6
2	9	21	市立瓦林小学校	122
3	10	27	市立瓦木中学校	180
4	11	18	市立北夙川小学校	125
5	1	28	市立大社小学校	101
6	2	10	市立浜脇小学校	134
7	2	22	市立浜脇小学校	34
8	2	24	市立段上西小学校	131
9	3	22	市立浜甲子園中学校	87
			合計	920

団体合計：16 団体・1,053 人

### c. その他の利用

資料特別利用数：17件・17人・資料数122点

資料貸出利用数：1件・107日間・資料数10点

#### (4) 臨時開館・休館

期間	理由
令和3年7月6日(火)～7月16日(金)	常設展示の撤収および特別展示の準備のため
令和3年8月14日(土)12時～8月15日(日)	水防警戒指令発令のため
令和3年8月17日(火)15時～8月18日(水)	水防警戒指令発令のため
令和3年8月31日(火)～9月3日(金)	特別展示の撤収および常設展示の復旧のため

## 2. 特別展示

### (1) 展示

第36回「街道を生きる～宿駅生瀬の歴史と文化財～」

令和3年7月17日(土)～8月29日(日)10時～17時(開館日数：36日)

観覧者数：3,668人

展示資料数：113点(高札 1点/村方諸書物控帳 1点/御用留帳 2点/検地名寄帳 2点/免定 11点/年貢免割帳 1点/宗旨人別改帳 4冊/摂州有馬郡生瀬村絵図 1点/御制札之写 1点/御書上帳 1点/御地頭道検分御出役につき差出置申絵図面の写し 1点/生瀬村馬借絵図面断帳 1点/街道略図 1点/生瀬村絵図 1点/湯山・船坂・唐櫃間道明細図 1点/閑道一件二付御答奉申上候控書 1点/新規閑道取払御願 1点/湯山町閑道一件写 1点/舟坂村新道一件書附之控 1点/有馬郡船坂村より西宮江新規閑道差留出入四ヶ駅願書写 1点/御用向控帳 2点/摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図(複製) 1点/万年覚帳 1点/小浜駅・生瀬駅・道場河原駅御通行之諸家様方心覚 1点/先触 3点/先触木箱 1点/大坂西御奉行永井能登守様土砂留御巡見二付御用人馬帳 1点/大坂西御奉行様人足割控帳 1点/永井能登守様御巡見御用継人足控帳 1点/大坂西御奉行様御用二附諸事一条覚控帳 1点/大坂西御奉行永井能登守様御通行宿々御賄道筋控 1点/大坂西御奉行永井能登守様御巡見二附役割控帳 1点/人足継立帳 3点/人足賃銭帳 1点/宿札(本願寺御門跡様御小休) 1点/宿札(内藤隼人正様御小休) 1点/宿札(内藤隼人正様御小休) 1点/宿札(阿波少将様御小休) 1点/宿札(阿州稲田様奥方様御中食) 1点/宿札(阿波少将様御小休) 1点/宿札(本願寺東御門跡様御小休) 1点/宿札(永井能登守様御小休) 1点/宿札(薩州大奥様御中食) 1点/宿札(阿州奥方様御中食) 1点/宿札(青山左京大夫様御中食) 1点/宿札(東本願寺御門跡様御小休) 1点/宿札(一柳対馬守様御小休) 1点/宿札(一柳対馬守様御小休) 1点/宿札(近衛前左大臣殿御小休) 1点/宿札(橋本大納言様御小休) 1点/駅所役牛馬附越坊出入控 1点/駅所役牛馬顔附控 1点/牛帳 控え 4点/切支丹宗門御制禁寺請帳 1点/諸色値段下ヶ書上帳控 1点/摂州名所荒増順覽記 1点/一札之事(中山寺宿屋差留出入) 1点/中山寺宿屋差留出入絵図 1点/中山寺村止宿一件証拠の宿札写 1点/生瀬の町並み(模型) 1点/御高札場絵図村方控江 1点/生瀬村田畑絵図 1点/渡船再造合力帳 口在々 1点/渡船再建合力帳 奥在々 1点/御国御巡見様御案内帳 1点/山陰道生瀬宿人馬賃銭川々土橋書上帳写 1点/長尾山論山下看図 1点/摂州武庫川辺生瀬庄浄橋寺略縁起 1点/西山上人思惟之像 1点/西山上人絵伝 2点/当麻曼荼羅科注 中巻 1点/繪旨写 3点/銅鐘銘文拓本 2点/摂津名所図会 卷九 有馬郡 能勢郡 1点/南禅寺古大鐘拝領につき請取書 1点/浄橋寺古瓦 3点/古瓦拓本 1点/石造五輪塔(複製) 1点/石造露盤(複製) 1点/摂州有馬郡生瀬村実法山浄橋寺境内山林田畑之絵図 1点/古記録 明細帳二属ス 1点/当山常什物 1点)

写真・解説パネル等：120点(開催挨拶等 2点/コルトン 1点/章パネル 4点/解説パネル 13点/写真パネル 5点/図パネル 6点/表パネル 1点/資料翻刻パネル 9点/資料キャプション 69点/入口パネル 1点/展示廊下パネル・キャプション 9点)

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

## (2) 関連行事（全5回、参加者数のべ105人）

### a. オンライン講座「生瀬の歴史」

(a) 第1回「生瀬の石造物―地蔵・墓石・五輪塔―」西尾嘉美（当館職員）

令和3年7月28日（水）13時30分～15時

参加人数：30人

(b) 第2回「生瀬の民俗―祈りと暮らし―」早栗佐知子（当館職員）

令和3年8月4日（水）13時30分～15時

参加人数：24人

(c) 第3回「生瀬の古文書―浄橋寺文書が語る歴史―」笠井今日子（当館職員）

令和3年8月11日（水）13時30分～15時

参加人数：40人

### b. 生瀬の文化財探訪

令和3年8月1日（日）9時30分～11時

参加人数：11人

### c. 展示解説会

令和3年8月14日（土）10時30分～11時30分

※気象警報発令のため中止した。

## 3. 特集展示

### 第52回特集展示

#### a. 展示

第52回特集展示「道しるべ―西国街道・中国街道をたどる―」

令和3年（2021）11月16日（火）～12月19日（日）10時～17時（開館日数：30日）

観覧者数：2,432人

展示資料数：23点（「三ヶ村立会田畑絵図」1点／「西宮御社略図」1点／「下大市村絵図」1点／「道中案内記」1点／「山崎通分間延絵図」（複製）1点／「大日本道中行程細見」1点／「鳴尾村絵図」1点／「摂津名所図会」1点／「道筋名所記」1点／「諸国順覧懷宝道中記」1点／道標写真 13点）

写真・解説パネル等：34点（入口案内パネル 1点／タイトルパネル 2点／解説パネル 2点／キャプション 23点／資料・写真パネル 6点）

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

#### b. 関連行事

文化財ウォーク「甲東周辺の文化財をめぐる」（さくらFMウォーク）

令和3年（2021）11月21日（日）9時30分～12時30分

参加者数：9人

見学場所：神呪の庚申塔／道標（かぶと山くわんおんみち）／腹切地蔵／道標（兵庫西宮）／大坂折屋徳兵衛建立道標／甲東村道路元標／道標（厄神明王道）／大阪洗心講建立石柱／門戸の庚申塔／門戸墓地／道標（厄神）／道標（日本三躰厄神明王社）／道標（日本三躰厄神明王道）／尼崎生魚上積中建立道標／大坂折屋徳兵衛建立道標／道標（高木今津道）／延命地蔵／茄子苗培養法発明家頌徳碑／辻の地蔵（道標）／辻の地蔵／稲荷社／上大市の庚申塔

## 4. 今月のアラカルト（全6回）

令和3年4月10日（土）～令和4年3月27日（日）10時～17時（開館日数：145日）

観覧者数：9,453人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室



テーマ	期間	日数	観覧者数	展示資料数
4月号 旧西宮町の宗旨人別帳1 「藤田瑞峯」	令和3年4月10日(土)～ 5月9日(日)	26	1,443	1点(西宮市所蔵文書0640 「借家一向宗門帳」1点)
5月号 旧西宮町の宗旨人別帳2 「浜東町の分割」	令和3年5月11日(火)～ 6月6日(日)	24	1,049	1点(西宮市所蔵文書0759 「家持一向宗門帳」1点)
6月号 「今津村の宗旨人別帳」	令和3年6月8日(火)～ 7月4日(日)	24	1,162	1点(西宮市所蔵文書1141 「宗門人別御改帳」1点)
1月号 西宮の土器(1)「灯明皿」	令和4年1月5日(水)～ 1月30日(日)	23	1,662	1点(西宮神社社頭遺跡出 土土師器1点)
2月号 西宮の土器(2)「須恵器」	令和4年2月1日(火)～ 2月27日(日)	24	2,563	4点(津門大塚町遺跡出土 須恵器(坏身)1点/具足 塚古墳出土品須恵器(坏蓋) 1点/自作参考資料(当て 具・タタキ)各1点)
3月号 西宮の土器(3)「弥生土器」	令和4年3月1日(火)～ 3月27日(日)	24	1,574	1点(仁川五ヶ山遺跡出土 弥生土器1点)

## 5. 指定文化財公開

「永福寺の高野四社明神画像」

令和3年11月2日(火)～11月14日(日)10時～17時(開館日数:12日)

観覧者数:1,089人

展示資料数:1点(絹本着色四社明神画像1点)

写真・解説パネル等:16点(解説パネル15点/入口サイン1点)

場所:西宮市立郷土資料館・常設展示室

## 6. その他展示

パネル展

a. パネル展示「西宮歴史調査団15年のあゆみ」

令和3年4月10日(土)から令和3年5月30日(日)

観覧者数:2,217人

写真・解説パネル等:8点(解説パネル8点)

場所:西宮市立郷土資料館・展示室廊下

b. パネル展「西宮の歴史資産を未来へつなぐ」

令和4年1月11日(火)～3月27日(日)10時～17時(開館日数:66日)

観覧者数:5,366人

写真・解説パネル等:8点(西宮市文化財保存活用地域計画案内パネル8点)

場所:西宮市立郷土資料館・常設展示室前廊下

## 7. 教育普及

郷土の歴史と文化をより深く理解してもらうために、講座の開催・出版・広報などを行った。

### (1) 講座・見学会

a. 西宮市立郷土資料館サマースクール(全5回、参加者数のべ51人)

番号	タイトル	講師	日時	参加者数
1	オリジナルの樽廻船をつくろう —江戸時代のお酒を運ぶ船を学ぼう—	中谷真悠香（当館職員）	令和3年7月29日(木) 10時～11時30分	9
2	子ども考古学教室 —土器を観察してみよう—	藤原亮太（当館職員）	令和3年7月31日(土) 10時～11時30分	8
3	作って使おう むかしの道具 —はかり—	西尾嘉美（当館職員）	令和3年8月5日(木) 10時～11時30分	9
4	夏休み親子紙すき	名塩和紙学習館紙すき推進委員会	令和3年8月7日(土) 10時～12時	17
5	歴史マップづくり —夙川下流編—	早栗佐知子（当館職員）	令和3年8月8日(日) 10時～11時30分	8

場所:1～3は西宮市立郷土資料館・講座室、4は郷土資料館分館名塩和紙学習館、5は夙川公民館（羽衣町1-39）及び郷土資料館・講座室

#### b. 西宮市立郷土資料館歴史ハイキング（全1回、参加者数のべ9人）

文化財ウォーク「甲東周辺の文化財をめぐる」（さくらFMウォーク）

令和3年（2021）11月21日（日）9時30分～12時30分

参加者数：9人

見学場所：神呪の庚申塔／道標（かぶと山くわんおんみち）／腹切地藏／道標（兵庫西宮）／大坂折屋徳兵衛建立道標／甲東村道路元標／道標（厄神明王道）／大阪洗心講建立石柱／門戸の庚申塔／門戸墓地／道標（厄神）／道標（日本三躰厄神明王社）／道標（日本三躰厄神明王道）／尼崎生魚上積中建立道標／大坂折屋徳兵衛建立道標／道標（高木今津道）／延命地藏／茄子苗培養法発明家頌徳碑／辻の地藏（道標）／辻の地藏／稻荷社／上大市の庚申塔

この他、代替事業として、「日本遺産認定1周年記念事業 銘醸地にしのみやの歩き方（今津郷）」を実施した。

## (2) 印刷・出版

『西宮市立郷土資料館行事予定案内リーフレット 令和4年度』

『西宮市立郷土資料館サマースクールチラシ』

『街道と生きる—宿駅生瀬の歴史と文化財—』（西宮市立郷土資料館第36回特別展示案内図録）

『特別展示ポスター』

『特別展示チラシ』

『西宮歴史調査団ニュース』第13号

『西宮歴史調査団ニュース』第14号

『西宮市立郷土資料館報 令和2年度(2020)』

『西宮市立郷土資料館ニュース』第54号

『西宮市無形文化財緊急調査年報—令和2年度(2020)—』

『西宮市文化財資料』69号（「新西宮の文化財」（改訂版））

## (3) 広報

### a. 西宮市政ニュース

一般広報（4/10号、5/10号、6/10号、6/25号、7/25号、8/10号、10/10号、11/10号、12/10号、1/1号、1/25号、2/10号、3/10号）

### b. インターネット

西宮市ウェブサイトの内「歴史と文化財」において、郷土資料館及び文化財に関する情報ページを運営した。

### c. ラジオ

(a) さくらFM「歴史と文化の散歩道」（「郷土資料館の今年度の取組み・今月のアラカルト展示「西宮町の宗旨人別町（1）」4月18日／「西宮の橋梁について（1）」5月2日／「西宮の橋梁について（2）」5月9日／「今月のアラカルト展示「西宮町の宗旨人別町（2）」5月30日／「水無月」について」6月6日／「今月のアラカルト展示「今津村の宗旨人別町」6月13日／「特別展示「街道と生きる—宿駅生瀬の歴史と文化財—」7月25日／「お盆について」8月15日／「地藏盆に

ついて」8月22日／「お月見について」9月19日／「西宮市本庁舎1階南側展示コーナー・アーカイブ西宮「記念物100年～西宮の史跡と記念物」」10月3日／「指定文化財公開「永福寺の高野四社明神画像」」11月7日／「11月の日本の伝統行事について」11月14日／「西宮市本庁舎1階南側展示コーナー・アーカイブ西宮「六湛寺町」」11月28日／「12月の日本の伝統行事について」12月5日／「特集展示「道しるべー西国街道・中国街道をたどるー」」12月12日／「新年の日本の伝統行事について」1月16日／「今月のアラカルト展示「西宮の土器(1) 灯明皿」」1月23日／「今月のアラカルト展示「西宮の土器(2) 須恵器」」2月6日／「今月のアラカルト展示「西宮の土器(3) 弥生土器」」3月6日

(b) さくらFM「まちたびラヂヲ」(今月のアラカルト4月号「旧西宮町の宗旨人別帳1ー藤田瑞峯ー」)4月18日／「日本遺産認定1周年記念『銘醸地にしのみやの歩き方(今津郷)』」5月30日／「さくらFMウォーク「甲東周辺の文化財をめぐる」」11月21日／「西宮の土器(2) 須恵器」2月6日)

(c) さくらFM「西宮徹底解剖」(「街道と生きる 宿駅生瀬の歴史と文化財」)7月5日・7月12日・7月19日・7月26日／「お地蔵さんと西宮」8月2日・8月9日・8月16日・8月23日／「西宮の橋梁ー市内の橋をハシからハシまでー」3月7日・3月14日・3月21日・3月28日)

#### (4) 博物館実習

学校：関西学院大学、甲南大学、神戸女子大学

実習生数：8人

期間：令和3年度8月2日(月)～8月6日(金)

実施日	実施内容
令和3年8月2日(月)	ガイダンス、館内施設見学、展示に関する実習、発送作業
令和3年8月3日(火)	民俗資料(民具)に関する実習、ワークショップの準備
令和3年8月4日(水)	発送作業、講座事業の補助
令和3年8月5日(木)	ワークショップの実施、発送作業
令和3年8月6日(金)	収蔵資料の整理(遺物洗浄)、総括

#### (5) トライやるウィーク

代替事業として、「100分間学芸員ー博物館の「中の人」は、何をやる人?ー」を実施した。

令和3年10月20日 8時30分～12時30分

学校：甲武中学校2年生

実施内容：ガイダンス、資料収集に関する実習、資料観察に関する実習、展示に関する実習、全体総括

#### (6) 職員の出講

派遣先	講座名等	派遣日・期間	職員名
ひょうご歴史研究室	ひょうご歴史研究室共同研究員	令和3年4月1日～令和4年3月31日	笠井今日子
神河町教育委員会	神河町史編集委員会委員	令和3年4月1日～令和4年3月31日	西尾嘉美
上ヶ原公民館	「歴史講座 甲山周辺の歴史と文化財」	令和3年4月23日(金)	瀬尾晶太
甲子園短期大学	「甲子園短期大学周辺の歴史と文化財」	令和3年6月18日(金)	猪岡叶英
宍粟市教育委員会	「古文書からみた宍粟のたたら製鉄」	令和3年8月21日(土)	笠井今日子
段上公民館	「連続講座 地域発見マップづくり」	①令和3年9月10日(金)、 ②令和3年10月8日(金)、 ③令和3年11月12日(金)、 ④令和3年12月10日(金)	中谷真悠香
白鷹緑水苑	「ー新酒ー一番乗り帆走レースー新酒番船と西宮港」	令和3年11月3日(水)	笠井今日子
南甲子園公民館	「地域講座 鳴尾の中国街道をたどる」	令和3年11月4日(木)	衛藤彩子
兵庫県立図書館	「連続講座ひょうご五国の城に迫る～撰津篇 西宮砲台に迫る!」	令和3年11月13日(土)	森下真企
阪神マイスターズ	「生瀬の文化財探訪」	令和3年11月24日(水)	椿原佳恵

西宮文化協会	「文化講演会 江戸時代西宮町人の生活と文化―藤田瑞峰を中心に―」	令和3年12月8日(水)	衛藤彩子
阪神間日本遺産協議会	「西宮から江戸へ「下り酒」の歴史を辿る～酒蔵めぐりと日本酒テイスティング～」	令和4年1月15日(土)	東原直明
ひょうご歴史研究室	「『山方役所勤方覚書』の解題をおえて」	令和4年3月5日(土)	笠井今日子

## (7) コンテンツ配信

西宮市ホームページで、西宮市立郷土資料館が作成したコンテンツを配信した。

- a. まなびのコンテンツ：たるかいせんすてろく（樽廻船双六）

## 8. 共催・後援事業

### (1) 講座・講演会

- a. (公財) 黒川古文化研究所 第67回夏季講座オンライン「比べて読み解く 東アジアの金属工芸」

「漢鏡？唐鏡？―中国古鏡の年代は何で決まるか―」石谷慎氏（黒川古文化研究所）

「近世刀装具を三次元計測してわかること」村瀬陸氏（奈良市教育委員会文化財課埋蔵文化財調査センター 主事）

「古墳から出土する金銀の耳飾はどこからきたのか？」金宇大氏（滋賀県立大学人間文化学部 准教授）

「和鏡の絵ごごろ―いい文様はここが違う―」川見典久氏（黒川古文化研究所）

令和3年9月20日(月) 9時55～15時00分

参加者数：88人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため代替事業として、Youtube ライブ配信を行った。

- b. 西宮市内博物館等連携講座

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- c. (公財) 辰馬考古資料館 講演会

「展覧の見どころと、展覧で見られない資料の裏側と」青木政幸氏（辰馬考古資料館）

令和3年11月6日(土) 13時30分～15時

参加者数：12人

場所：西宮市立郷土資料館・集会室

### (2) 展覧会

- a. 西宮市立北口図書館・郷土資料館連携事業

パネル展「西宮の日本遺産～下り酒と樽廻船を知る～」

令和3年9月3日～10月6日

写真・解説パネル等：6点（紹介パネル 6点）

場所：西宮市立北口図書館（北口町1-2）

- b. パネル展示「六湛寺の文化財」

令和3年11月1日(月)～11月30日(火)

写真・解説パネル等：8点（解説パネル8点）

場所：西宮市役所本庁舎1階 南側展示コーナー（六湛寺10番3号）

## 9. 資料の収集・保存・調査・研究

### (1) 収蔵資料の概要（合計：38,822点）

	民俗資料	教育史資料	考古資料	歴史資料	戦時生活資料	合計
令和2年度まで	8,774	17,166	981	10,816	1,046	38,783
令和3年度寄贈	6	31	0	0	0	37
令和3年度購入	0	0	2	0	0	2
令和3年度制作	0	0	0	0	0	0
累計	8,780	17,197	983	10,816	1,046	38,822

a. 寄贈資料

民俗資料 6点 (カゴ 6点)

教育史資料 31点 (教科用図書ほか 31点)

b. 購入資料

歴史資料 2点 (市外居住のすすめ 1点/香櫛園案内 1点)

(2) 図書を寄贈いただいた機関

相生市立歴史民俗資料館、青森県立郷土館、明石市立天文科学館、明石市立文化博物館、赤穂市立美術工芸館 田淵記念館、赤穂市立歴史博物館、芦屋市谷崎潤一郎記念館、尼崎市立歴史博物館、尼崎市立歴史博物館 田能資料館、尼崎市立歴史博物館 地域研究史料室、有田市郷土資料館、泉大津市立織編館、泉佐野市立歴史館いずみさの、板橋区立郷土資料館、伊丹市立博物館、茨木市立文化財資料館、岩手県立博物館、宇治市歴史資料館、雲仙岳災害記念館がまだすドーム、愛媛県歴史文化博物館、大分市歴史資料館、大阪市立住まい情報センター、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪歴史博物館、大津市歴史博物館、大山崎町歴史資料館、小野市立好古館、香川県立ミュージアム、鹿児島大学総合研究博物館、柏原市立歴史資料館、神奈川県立歴史博物館、亀岡市文化資料館、関西大学博物館、関西学院大学博物館、北九州市立自然史・歴史博物館 いのちのたび博物館、岐阜県博物館、岐阜市歴史博物館、岐阜関ヶ原古戦場記念館、(独) 国立文化財機構 京都国立博物館、(公財) 京都市埋蔵文化財研究所 京都市考古資料館、京都府立山城郷土資料館、(公財) 京都文化財団 京都府京都文化博物館、(公財) 虚子記念文学館、清荒神清澄寺 鉄斎美術館、草津市立草津宿街道交流館、熊本博物館、神戸市立小磯記念美術館、神戸市立博物館、神戸大学海事博物館、神戸深江生活文化史料館、神戸ゆかりの美術館、(独) 国立科学博物館、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館、埼玉県立川の博物館、堺市立平和と人権資料館、島本町立歴史文化資料館、昭和館、吹田市立博物館、世田谷区立郷土資料館、瀬戸内海歴史民俗資料館、太子町立歴史資料館、高槻市立今城塚古代歴史館、(公財) 竹中大工道具館、たつの市立龍野歴史文化資料館、天理大学附属天理参考館、東京都江戸東京博物館、同志社大学歴史資料館、鳥羽水族館、富山県 [立山博物館]、豊岡市立歴史博物館、長崎原爆資料館、長野市立博物館、名古屋市博物館、奈良県立民俗博物館、(独) 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館、南丹市立文化博物館、新潟市歴史博物館みなとびあ、西宮市貝類館、(公財) 日本のあかり博物館、沼津市明治史料館、沼津市歴史民俗資料館、播磨町郷土資料館、彦根城博物館、姫路市書写の里・美術工芸館、姫路市立手柄温室植物園、姫路市立美術館、姫路文学館、兵庫県立考古博物館、兵庫県立考古博物館加西分館 古代鏡展示館、兵庫県立美術館、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県立歴史博物館、平塚市博物館、福岡市博物館、福岡町立神崎郡歴史民俗資料館、府中市郷土の森博物館、三木市立みき歴史資料館、向日市文化資料館、武庫川女子大学附属総合ミュージアム、明治大学博物館、八尾市立歴史民俗資料館、野洲市歴史民俗博物館 (銅鐸博物館)、安中新田会所跡 旧植田家住宅、横尾忠則現代美術館、立命館大学国際平和ミュージアム、和歌山県立博物館、和歌山県立文書館、和歌山市立博物館

(一財) 大阪市文化財協会、岡山県古代吉備文化財センター、(株) クマヒラ、(株) ワン・パブリッシング、上山口自治会、(公財) 元興寺文化財研究所、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会、関西学院大学史学会、(一財) 北島古美術研究所、九州保健福祉大学、(公財) 京都市埋蔵文化財研究所、近畿民具学会、宮内庁書陵部、(公財) 黒川古文化研究所、甲南大学文学部、神戸女子大学古典芸能研究センター、神戸女子民俗学会、(株) 神戸新聞社、神戸大学大学院人文研究科地域連携センター、國學院大學博物館学研究室、(株) 国際文化財、(株) 国土社、(有) 楽浪文化財修理所、滋賀県立大学、十八条村・蒲田村郷土史研究会 (仮)、(株) 昭和堂、「新・日韓交渉の考古学—弥生時代—」研究会、(公財) 政治経済研究所付属 東京大空襲・戦災資料センター、(株) 第一法規、宝塚の古文書を読む会、たつの市立埋蔵文化財センター、公益財団法人 日本博物館協会、(独) 国立文化財機構 東京文化財研究所、(独) 国立文化財機構 文化財防災センター、(公財) 徳島

県埋蔵文化財センター、(公財)長岡京市埋蔵文化財センター、奈良大学文学部文化財学科、(独)国立文化財機構 奈良文化財研究所、新潟市文化財センター、西宮市古文書を読む会、(宗)西宮神社、西宮神社文化研究所、西宮文化協会、日本海事史学会、(公財)日本博物館協会、(公財)日本文化財保護協会、日本民具学会、花園大学史学会、(公財)阪急文化財団、播磨国総社一ツ山大祭・三ツ山大祭保存会、美術館連絡協議会、姫路市埋蔵文化財センター、姫路市立城郭研究室、(公財)兵庫県まちづくり技術センター、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 RRM、兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室、兵庫藩札保存会、福井県教育庁埋蔵文化財調査センター、(公財)ポーラ伝統文化振興財団、(学)武庫川学院、武庫川女子大学 生活美学研究所、(株)名著出版、(学)行吉学園、(株)吉川弘文館、(株)読売新聞、立命館大学文学部、立命館大学 考古学・文化遺産専攻、(公財)和歌山県文化財センター、(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団

県市区町村及び教育委員会(相生市、明石市、赤穂市、朝倉市、芦屋市、尼崎市、綾部市、有田市、淡路市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、板橋区、池田市、伊丹市、猪名川町、茨木市、越前市、大阪狭山市、大山崎町、小浜市、貝塚市、海南市、各務原市、加古川市、橿原市、交野市、かつらぎ町、香美町、神河町、河内長野市、川西市、上牧町、木更津市、北九州市、熊本市、神戸市、五條市、御所市、堺市、四条畷市、島根県、島本町、白浜町、吹田市、世田谷区、泉南市、総社市、大東市、高岡市、高砂市、多可町、高槻市、たつの市、丹波篠山市、丹波市、豊岡市、豊中市、富田林市、長岡京市、新潟市、西脇市、沼津市、東大阪市、姫路市、兵庫県、枚方市、福崎町、藤井寺市、松原市、まんのう町、三木市、三豊市、南あわじ市、箕面市、八尾市、野洲市、山添村、大和郡山市、養父市、和歌山県、和歌山市)

### (3) 調査・研究

#### a. 収蔵資料の調査研究

民俗資料の調査研究

歴史資料の調査研究

教育史資料の調査研究

考古資料の調査研究

#### b. 専門分野の調査研究

徳川大坂城東六甲採石場に関する調査研究

生瀬地区の文化遺産に関する調査研究

無形文化財に関する調査研究

### (4) 収蔵資料の公開

西宮市が保有する歴史資料を公開するウェブサイト「にしのみやデジタルアーカイブ」に収蔵資料等 119 点のデジタルデータ (2,243 ファイル) を登録した。

### (5) 収蔵資料の燻蒸処理

有害生物除去のため展示室及び収蔵庫の燻蒸を下記の通り行った。

場所：常設展示室、収蔵庫 1・2・3・4 及び前室

実施日：令和 3 年 9 月 27 日 (月)

使用薬剤：エコムアール FT ドライ・ライセント

## 10. 文化財調査ボランティア (西宮歴史調査団)

### (1) 調査活動 (登録者数 24 人、調査者数のべ 126 人、調査日数のべ 21 日 ただし個人活動は除く)

平成 18 年度より行っている市民主体の資料調査事業である。登録者が 3 班に分かれ市内の文化財調査を進めた。5 月 13 日から 11 月 5 日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため、郷土資料館内での調査活動を休止した。同様の理由により定例会を中止した。

#### a. 石造物調査班

西宮神社などの調査カードの見直し

調査員数：11人

b. 古文書調査班

旧西宮町の宗旨人別帳を調査し、記録した。

調査員数：12人

c. 竜吐水調査班

これまでの調査成果の整理

調査員数：6人

(2) 交流会（全2回、参加者数36人）

	内容	日時	参加者数
11月	指定文化財公開「永福寺の高野四社明神画像」 展示解説	令和3年11月6日（土） 9時30分～10時45分	20
3月	ミニ研修「西宮市文化財保存活用地域計画とは」	令和4年3月12日（土） 10時～11時45分	16

(3) その他活動

a. 令和3年度活動報告会・令和4年度団員登録会

※新型コロナウイルス感染拡大防止の中止。活動報告会の代替として交流会を実施した。

b. 西宮歴史調査団年報

令和3年度は発行を休止した。

c. 西宮歴史調査団通信

令和3年度は発行を休止した。

d. 調査団 Monthly News letter

令和3年6月から令和4年度3月まで月一回程度、令和3年度の西宮歴史調査団の調査員を対象にメールマガジンを配信した。

e. 西宮歴史調査団ニュース

『西宮歴史調査団ニュース』第13号（令和3年8月20日発行）

『西宮歴史調査団ニュース』第14号（令和3年12月17日発行）

f. パネル展示

「西宮歴史調査団15年のあゆみ」

令和3年4月10日（土）から令和3年5月30日（日）

観覧者数：2,217人

写真・解説パネル等：8点（解説パネル8点）

場所：西宮市立郷土資料館・展示室廊下

## II 郷土資料館分館名塩和紙学習館の運営

伝統産業である「名塩紙」（国指定・兵庫県指定無形文化財）への理解を深めることを目的に、常設展示室において関連資料の展示を行うとともに、紙すき実習の指導を行った。なお、和紙学習館の運営にあたっては、その一部を名塩和紙学習館紙すき推進委員会に委託した。

### 1. 令和3年度利用状況

#### (1) 紙すき体験学習

事前に申し込みのあった団体に、専門の指導員が実習の指導を行った。

##### a. 紙すき実習利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般 団体	団体数	0	0	0	2	1	0	1	2	0	0	5	1	12
	利用者数	0	0	0	30	17	0	8	44	0	0	25	18	142
学校 団体	団体数	0	0	0	2	0	0	2	9	8	8	0	0	29
	利用者数	0	0	0	156	0	0	94	297	230	217	0	0	994
団体数合計		0	0	0	4	1	0	3	11	8	8	5	1	41
利用者数合計		0	0	0	186	17	0	102	341	230	217	25	18	1,136

##### b. 団体利用者一覧

###### 学校団体

番号	月	日	団体名	人数
1	7	2	市立名塩小学校2年A組	29
2	7	2	市立名塩小学校2年B組	29
3	7	2	市立名塩小学校2年C組	28
4	7	9	市立高須西小学校3年1組	24
5	7	9	市立高須西小学校3年2組	23
6	7	9	市立高須西小学校3年3組	23
7	10	8	市立鳴尾小学校3年1組	29
8	10	8	市立鳴尾小学校3年2組	29
9	10	14	市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校3年生	36
10	11	4	市立名塩小学校6年A組	32
11	11	4	市立名塩小学校6年B組	33
12	11	4	市立名塩小学校6年C組	32
13	11	9	市立生瀬小学校6年1組	34
14	11	9	市立生瀬小学校6年2組	33
15	11	12	市立東山台小学校6年1組	36
16	11	12	市立東山台小学校6年2組	35
17	11	25	市立東山台小学校3年1組	31
18	11	25	市立東山台小学校3年2組	31
19	12	9	市立名塩小学校3年A組	35
20	12	9	市立名塩小学校3年B組	35
21	12	10	市立東山台小学校4年1組	25
22	12	10	市立東山台小学校4年2組	26
23	12	10	市立東山台小学校4年3組	25



24	12	15	市立名塩小学校 4年 A組	28
25	12	15	市立名塩小学校 4年 B組	28
26	12	16	市立名塩小学校 4年 C組	28
27	1	7	卒業証書欠席児童	16
28	1	13	市立生瀬小学校 3年 1組	26
29	1	13	市立生瀬小学校 3年 2組	25
30	1	18	市立名塩小学校 5年 A組	29
31	1	19	市立名塩小学校 5年 B組	32
32	1	19	市立名塩小学校 5年 C組	30
33	1	21	市立名塩小学校 1年 A組	27
34	1	21	市立名塩小学校 1年 B組	32
			合計	994

#### 一般団体

番号	月	日	団体名	人数
1	7	25	ボーイスカウト西宮第 11 団カブ隊	9
2	7	29	塩瀬地区教職員研修	21
3	8	7	夏休み親子紙すき教室	17
4	10	20	卒業証書研修会	8
5	11	20	青少年育成協議会枝吉支部	32
6	11	24	阪神マイスターズ	12
7	2	4	本格紙すきに挑戦 1 日目	5
8	2	5	本格紙すきに挑戦 2 日目 AM	5
9	2	5	本格紙すきに挑戦 2 日目 PM	5
10	2	6	本格紙すきに挑戦 3 日目 AM	5
11	2	8	本格紙すきに挑戦 4 日目 PM	5
12	3	26	春休み親子紙すき教室	18
			合計	142

団体合計 46 団体・1,136 人

## (2) 常設展示

名塩紙の特徴やその歴史を深く理解してもらうために、紙すき道具や製品を展示するとともに、実際に紙をすく様子を撮影した VTR を映写し、観覧者の学習に供した。

常設展示入場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26	26	26	27	24	26	27	25	24	23	24	27	305
市内入場者数	3	7	8	2	15	9	9	13	5	3	7	3	84
市外入場者数	17	5	2	7	0	4	14	13	2	4	0	2	70
入場者数合計	20	12	10	9	15	13	23	26	7	7	7	5	154

## (3) 臨時休館期間

期間	理由
令和 3 年 8 月 14 日 (土) 12 時 ~ 8 月 15 日 (日)	水防警戒指令発令のため
令和 3 年 8 月 17 日 (火) 15 時 ~ 8 月 18 日 (水)	水防警戒指令発令のため

## (4) 利用料金等

実習費 (別途材料費)

10 人 ~ 16 人の団体 : 5,000 円

17人～24人の団体：10,000円

25人～40人の団体：15,000円

## 2. 教育普及

少人数による和紙学習館利用を促進するため、郷土資料館紙すき教室を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。また、名塩紙の理解をより深めるための原料の調製から仕上げまでの工程全体を学習する実習講座を実施した。

### (1) 主催実習事業（全1回、参加者数のべ25人）

#### a. 郷土資料館紙すき教室

令和3年5月9日（日）／7月11日（日）／9月12日（日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

講師：八木米太郎 氏（名塩和紙学習館紙すき推進委員会）

場所：名塩和紙学習館・実習室

#### b. 紙すき教室「本格紙漉きに挑戦～雁皮から紙を漉いてみよう～」（全1回、参加者数のべ25人）

令和3年2月4日（金）／2月5日（土）／2月6日（日）／2月8日（火）

講師：八木米太郎 氏（名塩和紙学習館紙すき推進委員会）

場所：名塩和紙学習館・実習室

### (2) 共催実習事業

名塩和紙学習館紙すき推進委員会 親子紙すき（全2回、参加のべ人数18人）

令和3年8月7日（土）／令和4年3月26日（土）

※令和3年8月7日（土）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

講師：名塩和紙学習館紙すき推進委員会

場所：名塩和紙学習館・実習室

### (3) トライやるウィーク

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## III 施設改修事業

令和3年度は、郷土資料館・分館名塩和紙学習館の施設改修工事等は行わなかった。

## IV 西宮市立郷土資料館条例および施行規則

### 1. 西宮市立郷土資料館条例

(昭和59年12月28日)

(西宮市条例第17号)

#### 沿革

平成12年3月30日 条例59号 [1]

平成13年12月26日 条例20号 [2]

平成26年12月18日 条例28号 [3]

令和元年12月25日 条例44号 [4]

令和2年12月21日 条例25号 [5]

#### (設置)

第1条 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、もつて市民の教育、文化の向上に資することを目的として、西宮市立郷土資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

#### (位置)

第2条 資料館は、西宮市川添町15番26号に置く。

(分館) [2]

第3条 資料館の分館として名塩和紙学習館（以下「学習館」という。）を置く。 [2] [5]

2 学習館は、西宮市名塩2丁目10番8号に置く。 [2]

#### (開館時間及び休館日) [5]

第4条 資料館の開館時間及び休館日は、規則で定める。 [5]

#### (事業)

第5条 資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 資料に関する刊行物の作成及び頒布を行うこと。
- (5) 博物館、学校その他の関係機関と相互協力を行うこと。
- (6) 学習館において、和紙実習を開催すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事業

[2] [4] [5]

#### (職員)

第6条 資料館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。 [5]

#### (和紙実習の受講) [4]

第7条 学習館において和紙実習を受講しようとする者は、あらかじめ規則で定める実習費を納付しなければならない。

ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、これを減免することができる。 [4] [5]

[4]

[4]

[4]

[4]

[4]

#### (特別利用の許可)

第8条 資料の模写、模造、撮影その他特別な利用（以下これらを「特別利用」という。）をしようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。 [2] [3] [4] [5]

2 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、特別利用の許可をしない。

- (1) 現に資料が展示されているとき。
- (2) 特別利用により資料の保存又は管理に支障があるとき。
- (3) 著作権者の許諾が必要な特別利用で、その許諾を得ていないとき。
- (4) 寄託された資料の特別利用で、寄託者の同意を得ていないとき。
- (5) その他市長が不適当と認めたとき。

[5]

3 市長は、特別利用の許可をする場合において、資料の保全上必要な条件を付することができる。[5]

(特別利用の許可の取消し等) [5]

第9条 市長は、特別利用の許可を受けた者が許可の条件に違反したとき若しくはそのおそれがあるとき又は資料館の運営上必要があると認めたときは、許可を取り消し、又は停止することができる。[5]

(原状回復等) [2]

第10条 資料館の施設等を汚損し、破損し、又は滅失した者は、速やかにこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事由があると認めるときは、賠償の額を減免することができる。[2] [3] [4]

[5]

(入館の制限) [1]

第11条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者については、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序、善良な風俗その他公益を害し、又はそのおそれがある者
- (2) 建物、設備、資料等を損傷し、又はそのおそれがある者
- (3) 営利を目的とする行為をし、又はそのおそれがある者
- (4) その他管理上必要な指示に従わない者

[1] [2] [3] [4] [5]

(委任) [5]

第12条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。[1] [2] [3] [4] [5]

付 則

この条例は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則 (平成12年3月30日西宮市条例第59号 [1] 西宮市立図書館条例等の一部を改正する条例3条による改正付則)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

付 則 (平成13年12月26日西宮市条例第20号 [2])

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月18日西宮市条例第28号 [3])

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

付 則 (令和元年12月25日西宮市条例第44号 [4])

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

付 則 (令和2年12月21日西宮市条例第25号 [5] 西宮市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例等の一部を改正する条例7条による改正付則抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、令和3年4月1日から施行する。

(西宮市立郷土資料館条例の一部改正に伴う経過措置)

第4条 この条例の施行前に第7条の規定による改正前の西宮市立郷土資料館条例の規定により教育委員会が行った許可その他の行為は、同条の規定による改正後の同条例の相当規定により市長が行った許可その他の行為とみなす。

[4]

## 2. 西宮市立郷土資料館条例施行規則

(令和3年3月30日)

(西宮市規則第63号)

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市立郷土資料館条例（昭和59年西宮市条例第17号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定める。

(開館時間及び休館日)

第2条 資料館の開館時間は、次のとおりとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

- (1) 資料館（学習館を除く。） 午前10時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
- (2) 学習館 午前9時から午後5時まで（入館は午後4時まで）

2 資料館の休館日は、月曜日及び12月29日から翌年1月4日までとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(職員)

第3条 資料館の館長は、文化財課長をもって充てる。

2 資料館に置く学芸員その他必要な職員は、文化財課の職員をもって充てる。

(和紙実習費)

第4条 条例第7条本文の実習費（次項において「実習費」という。）は、次の各号に掲げる1団体当たりの実習受講人数に応じ、当該各号に定める額とする。

- (1) 10人から16人まで 1団体当たり5,000円
- (2) 17人から24人まで 1団体当たり10,000円
- (3) 25人から40人まで 1団体当たり15,000円

2 条例第7条ただし書の規定により、実習費の減免を受けようとする者は、市長に申請し、その承認を受けなければならない。

(特別利用)

第5条 条例第8条第1項の許可（以下この条において「許可」という。）を受けようとする者は、特別利用許可申請書を市長に提出しなければならない。

2 市長は、許可をしたときは、特別利用許可書を交付する。

3 許可を受けた者は、その利用に際し、特別利用許可書を市長に提示しなければならない。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、様式その他必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

### 3. 西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館管理運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、西宮市立郷土資料館条例（昭和59年西宮市条例第17号。以下「条例」という。）及び西宮市立郷土資料館条例施行規則（令和3年西宮市規則第63号。以下「規則」という。）に基づき、西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館（以下「学習館」という。）を会教育施設として広く市民の利用に供するために必要な事項を定める。

(和紙実習)

第2条 条例第5条（6）に規定する和紙実習とは、名塩紙等和紙の体験学習として学習館員等の指導により行う、和紙の抄紙等をいう。

(推進委員会)

第3条 市は、学習館の和紙実習及び名塩和紙に関する学習を円滑に行うため、西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館紙すき推進委員会（以下「推進委員会」という。）を置き、学習館の管理運営業務の一部を委託する。

(推進委員会規約)

第4条 推進委員会は、次に掲げる項目について規約を定め、市長に報告しなければならない。

- (1) 事業内容
- (2) 役員等に関する事
- (3) 指導員、準指導員及び助手に関する事
- (4) 推進委員会の会議運営に関する事
- (5) 会計及び監査に関する事
- (6) 規約の改正に関する事
- (7) その他細目に関する事

(和紙実習の指導等)

第5条 推進委員会は、和紙実習を円滑に行うため、指導員等の適切な配置について市と調整するものとする。

2 前項より、推進委員会が実習指導等を行ったときは、市長は推進委員会委員長の報告に基づき、指導員、準指導員及び助手に対して報償費を翌月に支払う。

(受講申込の時期等)

第6条 和紙実習受講申込は、受講しようとする日の1月前までに行うものとする。

(実習費の納付)

第7条 条例第7条の規定による実習費は、市が指定する金融機関で、和紙実習受講日の10日前までに納付するものとする。

2 受講者は、受講当日に納付を証する書類又はその写しを学習館窓口で提示しなければならない。

3 一旦納付した実習費は、返還しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その一部又は全額を返還することができる。

(実習費の減額または免除の率)

第8条 規則第4条第2項により実習費の減免申請があった場合には、以下の区分及び率により行う。

- (1) 西宮市、西宮市教育委員会又は推進委員会が主催又は共催する和紙実習 10割
- (2) 保育所、認定こども園及び市外の学校教育法で規定する学校（但し、大学は除く）が学習活動の一環として行う和紙実習 10割
- (3) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者が半数以上を占める団体の和紙実習 10割
- (4) 地域学習を目的とした児童・生徒の半数以上を占める団体が行う和紙実習 5割
- (5) その他市長が特別の理由があると認めたと認められた和紙実習 市長が相当と認める率

(実習費の減免申請)

第9条 規則第4条第2項の規定による実習費の減免申請は、和紙実習受講申込書兼実習費減免申請書（別記様式第1号）により行うものとする。

2 市長は、実習費の減免申請を承認したときは、実習費納付額等通知書（別記様式第2号）を交付する。

(実習費の返還と還付)

第10条 本要綱第7条第3項による実習費の返還は、次の各号に掲げる区分及び率による。

- (1) 受講者の責に帰することができない理由により受講できなくなったとき 10割
- (2) その他市長が特別の理由があると認めたとき 市長が相当と認める率

(実習費の還付申請)

第11条 実習費の還付を受けようとする者は、実習費還付申請書(別記様式第3号)を市長に提出しなければならない。

(委任)

第12条 この要綱の施行についての必要な事項は、市長が定める。

付 則

この要綱は、令和3年4月1日に施行する。

西宮市立郷土資料館報 令和3年度（2021）

編集・発行 西宮市立郷土資料館

兵庫県西宮市川添町15番26号

郵便番号：662-0944

電話：0798-33-1298